

福田寺だより

発行

飯田山 福田寺

住職 橋本尚信

神奈川県小田原市飯田岡二五七
電話 0465(36)2755

東寺の魅力

真言宗総本山東寺長者として一年半が過ぎました。本山での生活を通して、あらためて東寺の素晴らしさを感じています。その魅力の一端を述べたいと思います。「東寺というお寺」「弘法大師空海」「密教」の三つのワードから紐解いてみたいと思います。

東寺というお寺

先ず「東寺」というお寺が如何に凄いお寺であるかということですが、第一にその歴史であります。東寺は平安京の造営と同時に創建されたので現在の京都市街では最も古いお寺であります。西暦七九四年、桓武天皇が長岡京より平安

京に都を移した折、平安京の正門である羅生門の東側に都を守るお寺として建てられたのが東寺であり、東寺と西寺の他に都の中にはお寺は一つもありませんでした。しかも当時の寺域をそのまま保っているのは平安京の中で東寺のみであり、現在平安京の遺構を測る上で東寺が基本とされています。

次に建造物として京都を象徴する五重の塔を保持していることでもあります。塔は仏教寺院にとつて本来中心に存在するものでした。弘法大師は奈良寺院の形態を継承しつつ、平安京という新時代に即した寺院の構想として、南東の位置にどっかりと五重の塔を築きました。今、その五重の塔が京都のシンボルとして聳えていることを見通していたのでしょうか。

東寺は真言密教の根本道場として明治時代まで真言宗を統括していました。それは弘法大師が密教を広める為に都の中心に根本道場を定めた結果、全国に真言宗が広宣布され今日も多くの人々の信仰を集めているのです。



弘法大師空海

東寺は弘法大師空海が構想した真言密教の教えに基づいたお寺であります。弘法大師空海の偉大さは、日本で最初にノーベル賞を受賞した湯川秀樹博士が自著の中で、弘法大師空海の多分野にわたる非凡な才能を高く評価し、「人類史上稀に見る、アリストテレスやレオナルド・ダ・ヴィンチを凌駕する万能の天才」と評したことで、近代あらためてその天才ぶりが脚光を浴びる引き金となりました。

真言密教の教えは、お大師様の才能の全てが凝縮されたもので、その教えに多くの人が救われ、大師信仰の隆盛は一二〇〇年途切れることなく、今なお多くの人の心を魅了し続けています。

東寺は大師信仰の最大の霊場であります。東寺に居ると、その熱狂ぶりは随所で垣間見ることができます。例えば、御影堂での朝参



の参加者の熱心ぶりでありますが、五時半頃から私が修法をしていますと、六時の開門と同時に多くの人々が御影堂外陣に着座し、和讃を唱えるのですが、多い時は百人近くの方が少ない日でも三、四十人が参詣されるのです。毎日一日も欠かさない人もいます。御影堂での朝のお勤めは生身供といって、今もこの世におわしますお大師様の御像に食事を差し上げる作法が平行して行われるのですが、参詣の人々は目の前に居るお大師様の姿を拝むことにより一日の平安を祈っているのだと思います。

毎月二十一日のお大師様の縁日

である御影供には、全国から多くの信者さんが訪れ、終日境内は溢れんばかりの人で埋め尽くされますが、これも永年に亘って多くの熱心な信者さんによる構組織が下支えをしてきた結果であります。

密教の教えとは

弘法大師空海和尚が開かれた真言宗は、仏教の中でも特に密教という流れの教えであります。密教以外の仏教を顕教といいます。日本における浄土宗や日蓮宗、禅宗などは全て顕教であります。密教というと、何か秘密めいた理解しがたい教えのように感じますが、なぜ密教というかといいますと、密教の仏様の教えは奥が深く神秘性に富み、文字や文章では伝えきれない教えであるというところから密教というのであります。「顕薬塵を払い真言蔵を聞く」といわれるように、顕教の教えでは、塵を払って宝の在りかを探ることはで



きても宝の中身を知ることとは出来ないのに対し、真言密教の教えなら、蔵を聞いてその中にある仏の教えを直に知ることが出来るというのです。密教と顕教の違いは多くありますが、第一に顕教は人間にとつての煩惱や欲望を否定するのに対し、密教では煩惱や欲望すらをも肯定するところであります。密教では人間の人としての全て、良いところも悪いところも認めてくれて、その上でどう生きるかを示してくれるのです。密教のお寺さんが、加持祈祷といって、人々の願いごとを叶えてくれる為に護摩供養をしてくれるのは、人間の欲望を認め叶えてくれる為の修行なのです。

第二に、密教も顕教も仏になることが悟りを開く点では一緒ですが、その仏になる為に要する時間が全く違うのです。顕教で

は三劫成仏といって、仏になる為には測り知れない長い期間修行してはじめて悟れるということで、通常の人的一生ではとても仏になることが出来ない程の長い修行期間が必要なのに対して、密教では即身成仏といって、今この瞬間に仏になることが出来るのです。

他にも説法する仏の違いや、修行方法の違いなどがあり、密教の優秀性が顕著に見られます。

以上、東寺の魅力についてみて参りましたが、昨今の京都の中で、東寺は群を抜いて拝観者が多く、参ってくれています。これには大師信仰の霊場としての積み上げられた長い歴史の賜物であろうと思います。

写経会を開会中

第二月曜日10時より

ふるってご参加下さい。

永代供養墓の完成

永久の祈りの施設として構想を積み重ね、ようやく永代供養墓が完成しました。

折り込みチラシの写しを同封しましたので、墓仕舞いを検討中の方はご相談下さい。

又、永代供養墓を探しているお知り合いがいらつしやいましたら、お薦めしてあげて下さい。様々なご相談に応じさせて頂きます。



護摩供養会



(申込み受付中)

恒例の新年厄除け護摩を二月八日の午後三時より修行致します。令和八年度は、昨年と同様感染予防に配慮しながら、檀信徒の皆様にはご参詣頂ける形での実施を予定致しておりますので、どうぞ多くの方のお申込み並びにご参加をお待ちしております。

祈祷料…三千円

祈祷内容…厄難消除(厄除け)、
身体健全、病魔退散、家内安全、
交通安全、商売繁盛、業運繁栄、
学業成就、合格祈願、安産祈願、
子授け祈願、その他

申込み…一月末日まで、電話可

電話 0465 (36) 2755

FAX 0465 (37) 6688

令和八年度厄年

男性(大厄)

前厄 昭和六十一年生まれ

本厄 昭和六十年生まれ

後厄 昭和五十九年生まれ

(厄) 平成十四年

昭和四十一年 生まれ

女性(大厄)

前厄 平成七年生まれ

本厄 平成六年生まれ

後厄 平成五年生まれ

(厄) 平成二十年

平成二年 生まれ

仏教相談

～誰でも気軽にどうぞ～

勿論檀家さん以外の方でも仏事
に関して、どうしたらよいのか？
どんな些細なことでもご相談下さい

電話 0465 (36) 2755

元旦祈願

除夜の鐘とともに、本堂の扉を開けておきます。

午前0時より1時まで、副住職により新年のご祈祷が修法されます。ご自由に参拝ください。

暮れのお参り



通常通りお参り下さい。但し出来るだけ密を避けるため日にちに余裕をもってお参り下さい。

古い護摩札やお守りなどは、暮れのお参りの時に、本堂入り口に用意された納め場所に納めて下さい。特に大きなものや、燃えないものは連絡ください。

年回のお知らせ

来年度の年忌(年回)法要の張り紙を本堂に掲げておきますので暮れのお参りのときに自分の家の年忌を確認して下さい。

年忌に相当している場合、法要の日取りを早めに連絡して下さい。